

# Arcserve UDP 8.0 新機能ガイド

## Arcserve UDP 8.0

オンプレミスの物理/仮想環境からクラウドまで、あらゆるニーズに応える 統合バックアップ・リカバリソリューション

---

### <Arcserve UDP 8.0 の 主な新機能・拡張機能>

#### Microsoft 365 関連のサポート拡張

Microsoft 365 のデータ保護機能が強化されました。OneDrive 復元オプションの強化、SharePoint Online でのサイトバックアップ機能の拡充、Office365 グループ サポート、Teams のデータバックアップ・復元のサポートなど、リモートワーク環境でのデータ保護が強化されています。

**Nutanix Files サポート:** UNC/NFS 共有のバックアップ機能が強化され、Nutanix Files のスナップショットと連携して高速にバックアップが行えるようになりました。Nutanix Files は、ソフトウェア定義のスケールアウトファイル ストレージ ソリューションであり、ホーム ディレクトリ、ユーザ プロファイル、部門共有、アプリケーション ログ、アーカイブなどの非構造化データのレポジトリを提供します。

**復旧ポイントのリバース レプリケーション:** クラウド、MSP、またはリモート管理された RPS からオンプレミス RPS サーバにバックアップ データ（復旧ポイント）を複製する機能が追加されます。これにより、オンプレミスのファイアウォールに受信用のポートを開ける必要がなくなり、より簡単にオンプレミスのサーバを復旧できるようになります。

**「復旧ポイントのコピー」機能が Amazon S3 のオブジェクトロックに対応:** オブジェクトロックが有効になった Amazon S3 に「復旧ポイントのコピー」でバックアップ データを複製できます。複製されたバックアップ データは期日になるまで削除/改ざんされません。ランサムウェアなどの攻撃からバックアップ データを守る方法の 1 つとしてご利用いただけます。

**設定情報のエクスポートおよびインポート:** Windows エージェントの設定情報を JSON ファイル形式でエクスポートおよびインポートできるようになりました。

### その他の拡張機能

コマンドライン ユーティリティ (PowerCLI) のログの改善

スナップショット取得後コマンドの拡張

リストア/レプリケーションに使用されるネットワークの指定機能

Linux サーバのバックアップ/リストアに使用されるネットワークの指定機能

複数の仮想スタンバイ VM の同時起動

複数のインスタント VM の同時起動

### <サブスクリプション ライセンス導入について>

Arcserve UDP 8.0 から、サブスクリプション ライセンスの販売を開始いたします。

#### 1. Arcserve UDP 購入ライセンスの種類別にサブスクリプション ライセンスを適用

従来から販売しております永久ライセンスに加え、ライセンス有効期間を 1/5 年に限定したサブスクリプション ライセンスを販売します。

サブスクリプション ライセンスでは保護対象データ量による容量課金 (フロントエンド・テラバイト) およびサーバ単位、CPU ソケット単位の課金方式が提供されます。

毎年の更新処理を避けたい場合は 5 年版の購入をお勧めします。

#### 2. Microsoft 365 向けサブスクリプションライセンス価格改定

Microsoft 365 へのバックアップが重要視されるようになったことを受け、価格を見直しました。従来価格から半額以下とし、より多くのユーザー様へ、お求めやすい価格帯に改定いたしました。